

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
地域環境学	小野寺 一成	講義	2	建築士	1, 2, 3	3, 4	1, 2, 3, 4
授業概要 授業目的	地域の自然や歴史文化、地域環境問題、環境に配慮した市街地整備や集約型都市構造など、地域環境計画の基礎的内容について講義する。 都市及び地域の環境、自然環境、地球環境についての基礎的な知識と理解力、分析力を習得するとともに、計画能力を養い育てることを目的とする。						
到達目標	地域環境の今日的な課題を学び、地域及び都市に興味を持つことを喚起し、持続可能な地域づくりの理念とその意義について認識を深めることを目標としている。						
回	学習内容						
1	ガイダンス：講義内容、講義スケジュール、地域環境学概要						
2	都市化による環境問題、失われていく日本の自然環境						
3	ヒートアイランド現象と地球温暖化、環境汚染						
4	環境に配慮した都市づくり、地形にあった都市						
5	都市と地域の自然環境づくり、ビオトープ						
6	集約型都市構造、低炭素型まちづくり計画						
7	環境に配慮した市街地整備計画						
8	講義前半のまとめと中間試験						
9	地域環境のデザイン						
10	都市・地域の環境計画						
11	農村・田園の環境計画						
12	歴史的風致の維持・再生						
13	地域環境と住民参加						
14	都市・農村・自然の新秩序						
15	全講義のまとめと期末試験						
予習内容 復習内容	予習：各講義のテーマに関連した文献や講義中に示した参考文献などに目を通しておくこと。 復習：毎回配布する資料を復習するとともに、講義の重要なキーワードを理解しておくこと。						
教科書	テキストは使用しない。基本的には、Power Point を使用した講義。ppt 資料などを配布。 テーマによっては、DVD 教材などの視聴覚教材の利用。参考文献などは講義中に提示。						
成績評価	中間試験(40%)、期末試験(50%)、講義後小レポート(10%)をあわせて評価。 1/3 を超えて欠席した場合は評価の対象外、遅刻 3 回で 1 回の欠席とみなす。						
実務経験	都市計画事務所に勤務し、市町村総合計画、都市計画マスタープラン、住環境整備計画、地区計画、公営住宅統廃合計画などを策定したほか、住環境整備事業や公営住宅建替事業等に参画。 授業では、これらの実務経験を活かした実践的な調査研究、計画・設計力の養成に努める。						
その他 特記事項	授業の最後に、当日行った講義の重要なキーワードの回答を求める簡単な講義後小レポート(A6判)を予定。						